

## 2017年度 イギリス研修

## 1. 概要

期間: 2018年3月18日(日)～3月27日(火) 10日間  
 ボーンマス 6泊(ホームステイ)  
 ストラットフォード・アボン・エイボン 1泊(ホテル)  
 オックスフォード 1泊(ホテル)  
 機内 1泊

参加生徒: 幕張高24名(男子12名、女子12名)、渋谷高8名(男子3名、女子5名)  
 引率教員: ████████(幕張高)  
 添乗員: ████████様(JTB)

## 2. 日程

日次	日付	時間	場所	スケジュール
1	3/18(日)	9:30 11:30 15:10 19:00	羽田  ロンドン ボーンマス	羽田空港国際線ターミナル集合 羽田空港発(JAL043) ヒースロー空港着 ※以降、現地時間 アングロコンチネンタル校着、各ホストファミリーへ
2	3/19(月)	8:30 9:00 11:00 13:00 13:30 14:00 15:00 15:30	ボーンマス	登校、出欠確認 エントリーテスト ボーンマス、プール市街バス見学 アングロコンチネンタル校内カフェテリアにて昼食 クラス発表 English conversation Workshop 下校、中村さん案内のもとボーンマス中心街へ ボーンマス中心街で解散
3	3/20(火)	8:30 8:45 13:15 14:00 16:00	ボーンマス	登校、出欠確認 午前授業開始 昼休み 午後授業開始 下校
4	3/21(水)	8:30 8:45 13:15 14:00 16:00	ボーンマス	登校、出欠確認 午前授業開始 昼休み 午後授業開始 下校
5	3/22(木)	8:30 8:45 13:15 14:00 15:00	ボーンマス	登校、出欠確認 午前授業開始 昼休み International Culture Afternoon 下校
6	3/23(金)	8:30 8:45 13:15 14:00 15:00	ボーンマス	登校、出欠確認 午前授業開始 昼休み 修了証授与 下校

7	3/24(土)	8:30 10:00 11:00 12:30 13:30 16:00 18:30 20:00	ボーンマス  バース  ストラットフォード・アボン・エイボン	アングロコンチネンタル校に集合し、出発 ストーンヘンジを車内から見学 ロイヤルクレセント見学 昼食 ローマンバス見学後、自由行動 バースを出発 ストラットフォード・アボン・エイボン着、レストランにて夕食 ホテル着
8	3/25(日)	7:00 8:30 9:00 12:30 13:30 15:15 17:30 19:15	ストラットフォード・アボン・エイボン   オックスフォード	起床、朝食 ホテル着出発 アンハサウエイ宅、シェークスピア宅見学後、自由行動 昼食 ストラットフォード・アボン・エイボンを出発 オックスフォード大学/クライストチャーチ校着 見学後、自由行動 レストランにて夕食 ホテル着
9	3/26(月)	7:00 8:30 10:30 12:30 14:00 15:30 19:15	オックスフォード  ロンドン	起床、朝食 出発 大英博物館見学 コヴェントガーデンにて自由行動をしながら昼食 バッキンガム宮殿見学 ヒースロー空港着 ヒースロー空港発(JAL044)
10	3/27(火)	15:00	羽田	羽田空港着、入国手続き後解散 ※日本時間

### 3. 語学学校での活動

今年度はAnglo-continental校の1校で語学研修を受けた。学校が位置するのは、ロンドンから南西に車で2時間ほどのボーンマスという都市で、街の南側にはビーチもあり夏には多くの観光客が訪れる治安の良い落ち着いた街である。地域には多くの語学学校が点在しており、世界各地から英語を学ぶ為に多くの学生が集まっている。到着初日こそ氷点下で雪がちらついたが、その後は天気恵まれ、穏やかな暖かい日が続いた。

#### <ホストチェンジ>

渋谷高 [ ] さんのホストのお子さんが水疱瘡を発症したため、ホストチェンジが1件発生した。そのため、初日は渋谷高 [ ] さんのホスト宅に宿泊した。翌日には新しいホストが無事に決まり二日目の夜からはそちらにお世話になった。

#### <学校の雰囲気>

アラブ系の留学生の割合が多い。欧州、アジアからの留学生はそれほど多くない。きれいなカフェテリアがあり、休み時間になると学生たちで賑わう。学生たちは談笑したり、時には卓球をしたりして過ごしていた。校内にはハルヨさんという日本人コーディネーターが駐在しており、困ったことがあれば相談にのってくれる。

#### 4. 観光(バスから降りて見学した箇所のみ)

##### <バース>

古代ローマの浴場遺跡を見学した。ローマ帝国の力がイングランドにも及んでいたことがよく分かる施設であった。日本語の音声ガイドがあり、借りることができる。生徒たちの中にはあえて英語の音声ガイドを借りている者もいた。自由時間を1時間ほど取ることができ、浴場遺跡以外にも付近の教会や町並みなどを楽しむことができたようである。

##### <ストラットフォード・アポン・エイヴオン>

宿泊したHallmarkホテルは趣のあるつくりで、食事も充実していた。朝食はイングリッシュブレックファーストのビュッフェ。ホームステイ中にはイングリッシュブレックファーストが食べられなかった生徒がほとんどで、この朝食よろこんでいた。

ストラットフォード・アポン・エイヴオンはシェイクスピア生誕の地で、彼の妻アン・ハサウェイの生家や、シェイクスピアの生家、シェイクスピアが洗礼を受けた教会などを見学した。ここでも1時間ほどの自由時間をとることができた。

##### <オックスフォード>

クライストチャーチ・カレッジ、マートン・カレッジ、ラドクリフカメラなどを見学した。クライストチャーチは『ハリー・ポッター』の映画の撮影場所になった場所でもあり、生徒たちはとても興奮した様子だった。自由時間を1.5時間ほど取ることができ、見学やお土産購入を楽しんだようである。

##### <ロンドン>

ロンドンでは、大英博物館、バッキンガム宮殿を見学した。大英博物館では、現地のイギリス人ガイドによる解説のもと、1時間ほどかけて展示物を見学した。解説が全て英語であったが、内容は概ね理解できていたようである。大英博物館での自由時間は15分で、お土産を購入する程度しかなかった。もう少し自由時間を増やしたいところであるが、道路渋滞が結構ひどく、同じホテルを利用する限り、次年度以降も同様の時間配分になるのではないかと思う。



バッキンガム宮殿にて

#### 5. まとめと今後の課題

初日こそ小雪がちらついていたが、それ以外は天候に恵まれとても活動しやすかった。ボーンマスは治安が良く過ごしやすかった。ホストチェンジが発生したが、迅速に対応していただき、全体を通して大きな事故もなく、充実した活動ができた。今年度の参加人数は32名であったが、もう少し増えるとクローズドクラス(日本人のみで構成されるクラス)が誕生する懸念があるようである。

語学研修の期間が1週間では短いように感じた。生徒たちからも、語学研修の期間が短いとのコメントが3割近く寄せられた。クラスで丸1日過ごせる日数は2日間しかなく、落ち着いて授業に臨める時間も少なかったと感じる。以前のように、2週間程度の期間があるとさらに充実した研修になると思われる。

ロンドンで自由に観光できる時間が短く、大英博物館の見学では、自由に見学する時間を設けて欲しいとのコメントが散見した。今年度は15分(お土産とトイレ程度)しか取れなかったため、次年度以降は改善したいところである。近年、交通量が増え、渋滞も年々酷くなっているようなので、ロンドン前日の宿泊地をもう少しロンドンに近い場所にできないか検討したいところである。